

V 職員構成

職名	担当・所属	氏名	教科
校長	学校経営	石川健	家庭
教頭	学校運営	深澤勉	
教諭	教務主任	萩原佳	
養護教諭		小清水あゆみ	
事務職員		藤保(松木秀文)	
技能員		齊藤月	
図書館司書		望月順子	
給食配膳員		上田有紀	
スクールカウンセラー		藤原淳カウ	
F E T		マイケルダロウ	
第1学年 教諭	1学年 主任	佐野一 記司	保体
〃	副主任・生徒指導	高橋幸 司	美術
〃	1組担任	北原宏 明	社会
〃	2組担任	伊東藤 雄一	英語
〃	3組担任	内藤味 香	数学
〃	ふたば2組担任	五切金 理恵子	音楽
〃	講師		国語
第2学年 教諭	2学年 主任	小上泉 恵子	国語
〃	副主任・1組担任	上柳澤 大	英語
〃	2組担任	河西大	理科
〃	3組担任	岩間光	社会
〃	ふたば2組副担任		技術
第3学年 教諭	3学年 主任	石井久 美	英語
〃	副主任・1組担任	望切金 紀	保体
〃	2組担任	長田拓 南	理科
〃	3組担任	廣瀬淳 也	国語
〃	ふたば1組担任	野澤佳奈 絵	数学
特支教支援員			

VII 生徒数並びに家庭数

4月23日 現在

年組	男子	女子	合計	家庭数
1-1	17	14 (2)	31 (2)	29
1-2	17	15	32	27
1-3	17	15	32	27
ふたば2		2	2	2
計	51	44	95	85

2-1	16 (2)	17	33 (2)	32
2-2	17	18	35	35
2-3	16	18	34	33
ふたば2			2	2
計	49	53	102	100

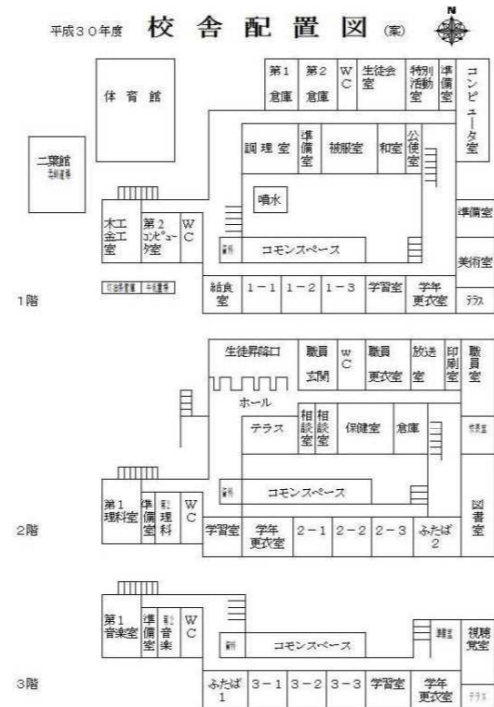
3-1	16	13	29	28
3-2	16 (1)	13	29 (1)	28
3-3	16	12 (1)	28 (1)	26
ふたば1			1	1
ふたば2		1	1	1
計	48	38	86	84

総合計	148	135	283	271
-----	-----	-----	-----	-----

VIII 日課時間表 (平常6校時までの場合)

朝の会	8:35~8:45	5校時	1:35~2:25
1校時	8:50~9:40	6校時	2:35~3:25
2校時	9:50~10:40	清掃活動	3:30~3:45
3校時	10:50~11:40	帰りの会	3:50~4:05
4校時	11:50~12:40		
給食準備	12:40~12:55	一般下校	4:30

IX 校舎配置図



VI 年間授業時数

教科	第1学年	第2学年	第3学年
国語	140	140	105
社会	105	105	140
数学	140	105	140
理科	105	140	140
音楽	45	35	35
美術	45	35	35
体育	105	105	105
家庭	70	70	35
英語	140	140	140
道徳	35	35	35
総合	35	35	35
活合	50	70	70
総時数	1015	1015	1015

平成31年度 甲府市立北東中学校学校要覧



北東中学校歌

高深尾須磨子 三郎 作曲

一 大気さわやか 甲斐の都は 城あそび高く 三層楼は 担つて励む 若い仲間の 北東中学校

二 甲府盆地と 支え支え支え 三とせととも 世界の空に せんだんだ 北東中学校

三 山は夢見よ 仰ぐ心の しのぶ歴史に 歌高く 北東中学校

龍華の春よ 二つのつばさ 未来と重ねて 追むのだから 北東中学校

所在地・施設および学区
 所在地 〒400-0015 山梨県甲府市大手二丁目4-18
 東経138°34'50 北緯35°40'44秒 標高382m

学校教育目標

「明るく伸び伸びとした子ども 喜んで働き 努力する子ども
 仲良〜つきあい だれからも愛される子ども 常に知識を求め
 新しい時代に生きぬく子ども」

学校経営の基本方針

- 「互いの良さを認め 学び合う学校の実現に努力する」
- 一人一人を理解し、個に応じた教育活動の推進に努める
 - 人との関わりを重視する指導の推進と、思い遣る心の育成に努める
 - 学習や生活の基盤である学級づくりに努める
 - 特別支援教育の充実とインクルーシブ教育の推進に努める。
 - 確かな学力の定着を図り学習意欲を高め、学ぶことの楽しさが実感できるような授業づくりに努める
 - 健康安全防災教育の推進と安全管理の充実に努める
 - 家庭や地域社会との連携を深め、信頼され開かれた学校づくりに努める

学校経営の努力点

- 望ましい人間関係の育成と心の教育を推進する。
 ・話し合い活動を充実させるなどして認め合い、学び合う学級づくりを推進する。道徳の時間の充実と道徳教育の推進により道徳的実践力を高める。生徒の心を育てる実践や事例などをとおして思い遣る心を育てる。
- 一人一人の願いや課題を把握し、きめ細かな学習指導に努める。
 ・学ぶ意欲を高め、学ぶことが楽しいと感じるような授業を実施する。確かな学力の定着を図り、主体的に学ぶ意欲を引き出す指導を推進する。指導のねらいと評価を明確にし、自己評価能力を育成する。ペアや班などの学習形態の工夫により思考を深め、学習課題を解決する場を設定する。特別支援教育についての正しい理解と認識に努め、個に応じた指導の充実に努める。
- 家庭・地域との連携を密にし、特色ある教育活動を推進し開かれた学校づくりに努める。
 ・小中連携を進めるとともに、学校開放日、行事・授業公開などを充実させる。朝読書、合唱、地域ボランティア活動や学校林活動等の取組を推進する。保護者や地域住民との信頼関係が深まるよう努力する。
- インクルーシブ教育への理解と推進を図る。
 ・インクルーシブ教育の基本的な考え方と合理的配慮の理解に努める。特別支援教育の視点を大切にされた指導。特別支援校内委員会の充実。
- 危機管理体制の充実に努める。
 ・学校事故防止のために安全管理の推進に努める。防災訓練の強化・交通事故防止、不審者対応など安全確保への取組と安全・防災教育の指導を徹底する。生徒や教職員の個人情報の適切な取り扱いに努める。常に危機意識を持ち災害等が発生した場合には、防災マニュアルにそった適切な対応に努める。
- 共通理解による指導体制を推進する。
 ・生徒の成長発達のためには多くの教職員の力が必要であることを再認識し、指導の方針や指導内容など共通理解のもとで指導にあたる。生徒自身の力で改善し向上できるよう継続した指導に努める。教職員の心にゆとりを持って生徒指導にあたる。
 ・がん教育をはじめとした健康課題への対応に努め、心身の健康の保持増進に努める。



I 学校の沿革

- 昭和34. 4. 1 北東中学校新設につ市つき市当局設立準備に着手する。
- 昭和35. 4. 1 北東中学校新設公布される。新紺屋小、相川小、富士川小一部（愛宕町・境町・東橘町・富士川町）を学区とする。
4. 1 第一期工事着手する（普通教室18）
4. 1 第一回入学式を富士川小講堂において挙行する。（11学級）
4. 5 第一回始業式、北中・東中校舎において授業を開始する。
4. 23 生徒会結成、二葉会と命名する。
9. 5 女子生徒の制服を制定する。
12. 23 新校舎に移転完了する。
- 昭和36. 3. 31 第二期工事着手する。（特別教室二棟・普通教室一棟）
4. 22 学校創立記念日を毎年4月22日と決定する。
1. 28 県英語教育研究実験学校の指定を受ける。NHK放送教育研究指定校を受ける。
6. 18 校歌を制定する。（作詩 深尾須磨子 作曲 高田三郎）
10. 18 第三期工事着手する。（管理棟昇降ホール）
11. 10 研究実験学校、研究指定校として研究結果を公開する。
- 昭和37. 12. 5 屋内体育館完成する。
- 昭和38. 2. 9 校旗樹立式を挙行する。（初代会長 山本達雄氏寄贈）
2. 9 全校舎完成落成式を挙行する。
3. 15 第一回卒業証書授与式を挙行する。
- 昭和40. 9. 30 第一回学園祭を行う。
3. 31 昭和41年度甲府市教育委員会より、道德教育の指定を受ける。
- 昭和41. 4. 11 全国学校林コンクールで入賞し、県・市より表彰を受ける。
4. 13 全国花いっぱい運動全国優秀校で表彰を受ける。
11. 26 甲府市教育委員会指定、道德教育の公開研究会を行う。
- 昭和44. 10. 23 創立10周年記念式典を挙行する。
- 昭和45. 9. 26 文部省道德教育研究指定校として、全国公開研究会を開催する。
- 昭和47. 11. 29 中心庭園竣工式を挙行する。
- 昭和48. 8. 6 プール完成。竣工式を挙行する。
- 昭和53. 4. 1 第二音楽室（プレハブ）竣工する。（64.8㎡）
10. 7 創立20周年記念式典を挙行する。
- 昭和56. 10. 1 屋内体育館床張り替え工事完了する。
- 昭和57. 3. 31 非常災害無線塔設置される。
- 昭和58. 3. 3. 校地藤川側フェンス約70mを設置する。
3. 格技場（プレハブ）一棟竣工する。（64.8㎡）
12. 24 校内放送施設の全面改修を行う。
- 昭和59. 3. 31 防災・緊急放送用施設設置及び新規受水槽、高架水槽を設置する。
7. 14 二年生八ヶ岳にて「けけれスクール」（三泊四日）を実施する。
10. 5 上水道全面配管替え、北便所全面改修不凍工事完了する。
10. 19 創立25周年記念植樹（つつじ100本）を行う。
- 昭和60. 3. 31 技術科室に木工工作台9基・自動鉋盤・丸鋸盤各1台を新調する。
- 平成 7. 15 学校農園を開設する。
12. 17 学校基本調査の功績により文部大臣賞を受賞する。
- 昭和61. 3. 31 グランドピアノ1台・電子コピー機1台を新調する。
- テニスコート・バスケットコート・バレーコートを改修する。
5. 10 植樹祭 檜1200本を植樹する。
10. 11 かいじ国体秋季大会の炬火リレーに参加する。
- 昭和62. 7. 18 格技場移転のため取り壊し。
- 昭和63. 1. 20 格技場を移転改築する。
3. 9 屋内体育館新築完成する。
- 平成元年2. 20 創立30周年前年の集いを行う。
3. 8 「山梨県教育研究助成金」交付対象研究校として表彰を受ける。
4. 24 新規採用教員授業研修実習校指定書交付を受ける。
9. 28 創立30周年の集いを行う。
- 平成 2. 12. 20 校舎全面改築の設計が決定する。平成 3. 7. 23 校舎全面改築起工式が挙行される。
- 平成 4. 8. 28 校舎移転に伴う移転作業。
3. 6 校舎改築竣工式・祝賀会を挙行する。
- 平成 5. 3. 6 「夢見の塔」除幕式を行う。
4. 30 平成5・6年度県教育委指定「自己教育力の育成推進校」指定書交付を受ける。
5. 1 緑の少年少女隊に加入する。



- 平成 5. 5. 19 成都市教育考察団来校。四川師範大学附属中王必能校長他6名友好親善を深める。
11. 17 運動場夜間照明6基の工事完了。
11. 19 県教委指定「自己教育力の育成推進校」の公開研究発表会を行う。
- 平成 6. 10. 19 県教委指定「自己教育力の育成推進校」の公開研究発表会を行う。
11. 15 俳優の柳生 博氏を招き福祉講演会を開催する。
- 平成 7. 11. 21 文化講演会「本は人を変える」小林是綱氏。
- 平成 8. 3. 31 ブロンズ像「花を持つ少女」細野稔人作 同窓会寄付甲府市初任者研修授業実習を受ける。
6. 19 ボランティア活動普及協力校（H6. 4～H9. 3）
- 平成 9. 11. 4 文化講演会「はるかなる夢にむかって」上田誠仁氏
- 平成10. 3. 9 柔剣道場（二葉館）竣工式
11. 2 文化講演会「南極の自然と暮らし」竹内 智氏
- 平成11. 11. 8 創立40周年記念式典 記念講演「天野宣&阿羅漢」氏による和太鼓公演
- 平成12. 10. 30 地域情報教育研修会（父母対象パソコン教室）
11. 6 研修部主催文化講演会「胡弓を聴く会」張 剣氏
- 平成13. 11. 8 研修部文化講演会「そこから始まる」羽中田 昌氏
- 平成14. 10. 5 第1回地域ふれあい活動（北東中井戸端会議）
10. 30 地域ふれあい道德発表会
- 平成17. 11. 30 社団法人食品容器環境美化協会 環境美化教育優良校等表彰 散乱防止活動部門優良校全国表彰
- 平成19. 4. 山梨県教育委員会「ふるさとやまなし心の教育推進事業」指定校となる。〈3年間〉
- 甲府市教育委員会「甲府の子どもの教育総合推進校」の指定を受ける。〈3年間〉
11. 文部科学省「道德教育実践研究事業推進校」の指定を受ける。〈2年間〉
- 平成20. 10. 29 文科省・県指定「道德教育実践研究事業推進校」の公開研究発表会を行う。
2. 22 道德教育講演会「夢探しの旅」鏡味仙三氏
- 平成21. 4. 22 第50回学校創立記念日
10. 28 文科省・県指定「道德教育実践研究事業推進校」の公開最終年度研究発表会を行う。
12. 25 創立50周年記念モニュメント設置 タイムカプセルへの「二十歳の手紙」投入
- 平成22. 1. 19 全国交通安全優良学校賞を受賞する。
3. 21 第1回「北東中を美しくする会」を実施する。
4. 文科省より「子どもの学習費調査」の指定校となる。
12. 2 教育振興部主催「ネット犯罪に関する講演会」
12. 8 研修部主催教育講演会 天野宣と阿羅漢「泰愾」コンサート
- 平成23. 10. 19 全学級「道德」授業参観1学年学級での福祉講話実践
- 平成24. 2. 7 撫子賞団体賞受賞 福祉厚生委員会「北口清掃」
10. 2 普通教室、特別教室エアコン設置工事完了
11. 22 関東中学校理科教育研究発表会を行う。
- 平成25. 8 体育館床面塗り替え
- 平成26. 5. 24 「北口清掃」日本善行会より表賞
- 平成27. 1. 30 「北口清掃」おもてなし山梨県民大会より表彰
- 平成27. 4 初任者研修授業研修会実習指定校
- 平成30. 3. 31 同窓会より「さざれ石」寄贈



II 校内研究の概要

1. 研究主題

「考え、議論する道德の授業研究」
～他者とよりよく生きる基盤としての授業づくりを通して～

2 研究主題設定の理由

昨年度の校内研究で、小集団の活用により生徒は多面的な価値観に触れ、新たな気づきや発見が生まれ、自分の考えをより深めることにつながったことで思考力・判断力・表現力を高めることができた。また、生徒同士の協働的な言語活動は、教科面だけでなく、学校生活の様々な場面でよりよい人間関係の構築につながったと考える。この研究の成果は「特別な教科 道德」に求められている「考え、議論する」道德の授業スタイルにも生かすことができると考える。今年度は、「特別な教科 道德」が完全実施されることを踏まえ、「主体的に考え・他者との議論を重ねることにより道德的思考の高めることをねらい」とした授業実践を進めることとした。



3 研究目標

「互いのよさを認め、他者とよりよく生きる基盤」を養うために、道德の授業の中に、生徒が主体的に考え、他者と議論を重ねる活動を効果的に取り入れることで、自己を見つめ、広い視野から多面的・多角的な思考を深めていくことができる。

4 研究仮説

道德の授業において、主体的に自分の考えをもち、他者と議論し、互いの道德観を理解し合い、自己の考えを深め思考することでの再構築を図り、他者とより良く生きる力を養うことができるであろう。

5 研究の内容

- (1) 「考え、議論する」道德の授業づくりに向けての研究と実践
- ・22の道德の内容項目を組み入れた授業計画と実践（学年で1つ）
 - ・「言語活動」の中に、「考え、議論する」場面を取り入れた授業実践
- (2) 道德授業振り返りシートの活用による評価の研究
- ・学校で統一した振り返りシートを使用し、全学年が同じ視点で生徒の自己評価の変容を研究する。



III 教育関係者

甲府市長	樋口雄一	生徒指導アドバイザー	橘田 清
山梨県教育委員会		学力向上専門員	臼井 稔
中北教育事務所所長	小林新吾	学力向上専門員	高橋義美
義務教育課 管理主事	河端雄一	派遣カウンセラー	進藤 正
〃 指導主事	池川徳波 植松聖人	カウンセラー	皆川千春
甲府市教育委員会		教育研修所管理担当	長野和也
教育委員長職務代理者	市川修策	教育研修所管理担当	高村晴夫
教育委員	原 玲子	自立支援カウンセラー	仙洞田茂雄
教育委員	末木浩一	自立支援カウンセラー	池谷淳敬
教育委員	岡田真姫	あすなろ学級本級指導	大澤正史
甲府市教育委員会事務局		あすなろ学級本級指導	久保川公貴
教育長	小林 仁	あすなろ学級東指導	嶋田一彦
教育部長	饗場正人	あすなろ学級東指導	川口ますみ
教育総室長	太田ひろみ	あすなろ学級南指導	鷹野幸雄
生涯学習室長	佐藤 学	あすなろ学級南指導	小林富一郎
総務課長	星野雅臣	学校評議員・校医	
学事課長	内藤 誠	学校評議員	小澤宏至
歴史文化財課長	田中 浩	〃	坂田成子
スポーツ課長	小林敏弘	〃	赤松 東
図書館長	本田芳紀	内科校医	中村俊也
教育施設課長	秋山 蒼	眼科校医	二宮守弘
学校教養課長	寺田 晃	耳鼻咽喉科	矢崎裕久
学務係 係長	中村克彦	歯科校医	渡辺富裕
〃 事務主任	藤巻千歳	スポーツD	藤原 篤
教育主事	青木 央	薬剤師	武藤勝彦
指導主事	風間俊宏		PTA関係
〃	大森 豊	PTA 会長	石田邦仁
〃	坂本貴彦	PTA 副会長	青木有紀
〃	古谷利揮	〃	浅川 歩
〃	田邊 健	〃	原田瑞枝
嘱託事務職員	長田尚子	幹事 庶務	渡邊久美子
学校教育振興に係る指導業務担当者		幹事 庶務	小山貴子
記録担当	向山和徳	幹事 庶務	長田るみ子
特支教育・知能検査	渡邊雅人	幹事 会計	川村知子

IV 年間行事予定 P T A行事

月	学校行事等	PTA 関係行事
4月	新任式 入学式 始業式 発育測定 各種検診 新入生歓迎会 授業参観 家庭訪問	学年部会総会 授業参観 学級懇談会 専門部会
5月	管理主事訪問 授業参観 生徒総会 3年修学旅行 1年宿泊学習	新旧本会役員会懇親会 研修部研修会 PTA 総会 市 P 連総会
6月	中間テスト 市総体 総合教育視察 授業参観 学級懇談	県 PTA 総会 第2回学校委員会
7月	三者懇談 期末テスト 1学期終業式 県中学総合体育大会	ふたば新聞発行（情報活動部）
8月	サマーテスト 2学期始業式	第3回学校委員会
9月	防災訓練 二葉祭	PTA作品展示 研修部 バザー・体育部門協力教育振興部
10月	市新人戦 中間テスト 1年学校林活動	第3回本会役員会
11月	3年進路相談 第1回校長会テスト 生徒会役員選挙 期末テスト 合唱祭	
12月	生徒会役員連立合演説会 三者懇談 2学期終業式	ふたば新聞発行 第4回学校委員会 市P連全体研修会
1月	3学期始業式 発育測定 3年三者懇談 公立高校前期入試	第5回学校委員会
2月	生徒総会 学校関係者評価委員会 3年期末テスト 新入生保護者説明会	街頭補導（教育振興部）
3月	1・2年期末テスト 公立高校後期入試 卒業証書授与式 修了式 離任式	会計監査